



- たくましい子（徳）
- 考える子（知）
- 健康な子（体）

## しなやかに、次の一步を～「レジリエンス」という一生の宝物～

教頭 菅野 直樹

今月は「レジリエンス」という言葉について、教頭からお伝えしたいと思います。最近、教育の現場で注目されているこの言葉は、日本語では「心の回復力」や「しなやかな強さ」と訳されます。進級・進学という大きな節目を控え、期待と不安が入り混じる今だからこそ、子供たちに育んでいきたい大切な力です。

### ■「折れない」ことよりも「しなる」強さ

私たちはつい、強い心と聞くと「どんな困難にもビクともしない、鋼（はがね）のような硬い心」を想像しがちです。しかし、硬すぎるものは、想定外の強い力が加わったときに、ポキリと折れてしまう危うさももっています。一方で、レジリエンスが指す強さは「竹」のような強さです。強い雪が積もれば大きくしなりますが、雪が落ちれば、またすくっと元に戻る。あるいは、へこんでも自らの力で形を戻す「ゴムボール」のような弾力性です。新しい学年になれば、学習の内容も難しくなり、人間関係も新しくなります。時には思い通りにいかないことや、壁にぶつかることもあるでしょう。そんな時、一度も転ばないことよりも、転んだ後にどう立ち上がるか、という「レジリエンス」こそが、学力と並んで大切な「生きる力」になると考えています。

### ■日常の中に宿るレジリエンスの芽

この1年、本校の子供たちの姿からも、多くのレジリエンスの芽生えを見ることができました。例えば、1学期に行った運動会の団体競技の様子です。練習の時間から紅組・白組どちらも勝利を目指し、熱心に練習しているのですが、なかなか、うまくいかず勝つことができません。しかし、そこからレジリエンスの出番です。子供たちが互いに「次はこうやろう」「別な作戦を考えよう」と声をかけ合い、失敗を「落ち込むこと」から「次へのヒント」へと書き換えていきました。

また、6年生は今、中学校という新しいステージへの準備を進めています。楽しみな反面、「勉強についていけるだろうか」「友達ができるだろうか」という不安も抱えています。実は、この「不安」を感じることで、心が成長しようとしている証拠です。不安という負荷がかかることで、心に「節目」ができ、竹のように強く、高く伸びていくことができるのです。

### ■進級に向けて、大人ができる「安全基地」の役割

子供たちがこの「しなやかな心」を育むために、私たち大人は何ができるでしょうか。最も大切なのは、家庭や学校が子供にとっての「安全基地」であることです。「失敗しても、ここに戻ってくれば大丈夫」「ありのままの自分を受け止めてもらえる」という安心感があってこそ、子供は未知の世界へ一歩踏み出し、失敗から立ち直る勇気をもつことができます。

進級を控えたこの時期、ご家庭でも次の3つの視点を意識してみてください。

#### 【「不安」をそのまま受け止める】

子供が不安を口にした時、「そんな大丈夫だよ」とすぐに否定するのではなく「そうだね、ドキドキするよね」と、まずはその感情を丸ごと受け止めてあげてください。

#### 【「この1年の成長」を価値付ける】

新しい学年の準備も大切ですが、まずは「この1年で、これができるようになったね」と、これまでの歩みを肯定してあげてください。それが自信（自己肯定感）となり、回復力の土台になります。

#### 【「助けを求める力」を認める】

自分一人一人で抱え込まず、誰かに「助けて」「教えて」と言えることは、弱さではなく、レジリエンスの重要な要素（受援力）です。

### ■結びに代えて ～希望の春へ～

「転ばぬ先の杖」を大人が用意しすぎることは、時に子供が回復力を学ぶ機会を奪ってしまうことにもなりかねません。子供が転んだとき、すぐに抱き起こすのではなく、自ら立ち上がろうとするのをじっと見守り、必要があればそっと手を差し伸べる。そんな適度な距離感での見守りを、学校と家庭、地域で手を取り合って実践していければ幸いです。子供たちがこの1年で蓄えた「しなやかな強さ」を自信に変え、希望をもって次のステージへ進めるよう、教職員一同、最後まで一人ひとりに寄り添ってまいります。

## 幼稚園との交流

1/28 (水) に1年生は、リリー文化幼稚園年長の園児さんと交流しました。

1年生は、学校探検など複数のプログラムを準備し、園児さんたちを楽しませることができました。

園児さんたちは、楽しかったためか、お別れの際、最後まで手を振ってくれました。



## 新1年生1日入学

2/4 (水)、令和8年度入学する新1年生に向けての「1日体験入学・保護者説明会」を実施しました。

当日は、新1年生の子供教室に分かれて、待っていた1・2年生と一緒におもちゃを作り、時には作り方をやさしく教えてあげました。

新1年生の子供たちも大変満足していました。



## 5・6年スキー学習

2/6 (金) 5・6年生を対象としたスキー学習を実施しました。

当日は、時折、強い風の吹く中でしたが、子供たちはサンライバでのスキーを楽しみました。

保護者の皆様は、当日までのご準備ありがとうございました。



## スクールカウンセラー授業

2/12 (木)、卒業を間近に迎えた6年生に向けて、スクールカウンセラーの尾野さんが、授業を行いました。

課題は「友達への話し方」でドラえもんに出てくるキャラクターをもとにどんな話し方がよいかグループでの話し合いを通して、一人一人が考えを深めていきました。



# 3月 行事予定

- 2日 (月) 全校朝会 ALT  
1~4年5時間授業  
5・6年6時間授業
- 3日 (火) フッ化物洗口
- 4日 (水) 3年5時間授業 こぐま号  
6年生を送る会  
1・2年町会下校指導 (最終)
- 5日 (木) ALT 4年5時間授業
- 6日 (金) 鬼っ子算数教室 (最終)  
学校運営協議会 (18:00~ )
- 9日 (月) ALT  
1~4年5時間授業  
5・6年6時間授業
- 10日 (火) フッ化物洗口
- 11日 (水) 3年5時間授業
- 12日 (木) ALT 4年5時間授業
- 16日 (月) ALT  
卒業式全体練習① (関係学年のみ)
- 17日 (火) フッ化物洗口  
卒業式全体練習② (関係学年のみ)
- 18日 (水) こぐま号  
卒業式総練習 (関係学年のみ)  
卒業式前日会場準備作業
- 19日 (木) A日課4時間授業 (全校給食なし)  
第55回卒業証書授与式
- 20日 (金) 春分の日
- 23日 (月) ALT
- 24日 (火) 修了式 離任式
- 25日 (水) 学年末休業 (~31日【火】)  
※令和8年度年度始休業 (4/1【水】~)
- 26日 (木) PTA会計監査



**※感染症流行により、急きょ、予定を変更する場合があります。**

## 3/11の震災を忘れない

3/11 (木) は、東日本大震災が発生してから15年となります。被災した皆様並びに関係者の皆様に、改めてお見舞い申し上げます。

今年度、北海道や登別市では2度津波に関わり、避難をしなければならない状況がありました。地震、津波を含め天災は、いつ起こるか分からない状況にあります。今、本校において児童の安全・安心に関わる事項の見直しを図っているとことでもあります。

ご家庭でも、今一度、避難方法などを確認していただく機会をもっていただければと思います。